

加古川市保安防火協会から、住宅用火災警報器が寄贈されました



▲住宅用火災警報器が贈られました

加古川市保安防火協会（加古川市・播磨町・稲美町で組織）が設立60周年を迎え、9月16日に記念式典が行なわれました。協会の記念事業として、平成23年5月までに設置が義務付けられている住宅用火災警報器が寄贈されました。寄贈対象は緊急通報システム（安心ボタン）利用者のうち設置を希望された方となっております。播磨町は63人分の寄贈を受けました。この警報器は地域の民生委員の協力を得て消防団員が順次取り付けていきます。

蓮池小学校1年生児童が、交通安全街頭啓発をしました



▲交通安全にご協力を！

9月29日の朝、播磨町駅を通勤などに利用する人たちに、蓮池小学校1年生の児童8人が元気良くあいさつをしながら、交通安全をお願いする街頭啓発活動を行いました。



▲「毎日やってもいいよ」と元気に活動しました

親（大人）と子どもの環境バスツアー

NPO法人環境21の会と中央公民館の主催で、8月1日（土）淡路島へ省エネと自然エネルギーについてのバスツアーを開催しました。五色町役場の庁舎の省エネについての説明を職員の方にしていただき、港では、風力発電の稼働状況を学習しました。他にもケナフの紙すき、合鴨農法など、親子でたくさん学習をしながら楽しい1日を過ごしました。また、来年も環境バスツアーを開催したいと考えています。



▲盛りだくさんの学習をしました

播磨町ふるさと賞 佐久間翔太郎君（本荘）



▲町長から記念の楯を贈られました

播磨町ふるさと賞は、文化、スポーツの分野でめざましい活躍をし、町民に希望と活力を与え、ふるさと播磨の名を広く知らしめた個人または団体に

対し、その栄誉をたたえ贈るもので、平成8年に創設し、佐久間君で13人目です。佐久間翔太郎君は、8月に開催された中学陸上全国大会（第36回全日本中学校陸上競技選手権大会）の110メートルハードルで優勝しました。播磨南中学校3年生陸上部の佐久間君は、中学1年生のときは100メートル短距離選手でした。2年生のときハードルを始め、先に全国大会に出場した先輩や先生のアドバイス・練習方法を自分なりに工夫して取り入れ、めきめきと頭角を現しました。「全国大会では緊張したが、ハードリングがうまくでき、気持ちよく風に乗ることができました。今後は、新潟国体やシニアオリンピックなど高校生と混ざって出場します。ハードルの高さが約4センチ上がるけれど頑張ります」と、心境を語ってくれました。

東播磨ふれあいネット(BAN-BANテレビ 11チャンネル)
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の行政広報番組です。

11月の放送予定（収録場所 加古川市）

前半 11月2日(月)～15日(日)

- 特集 第20回加古川ツデーマーチ（加古川市）
- ふれあいインフォメーション（各市町からのお知らせ）

後半 11月16日(月)～29日(日)

- 特集 水の流れをたどって印南野を散策！～いなみ野フットパス～（稲美町）
- ゆうゆうライフ（高砂市）
- ふれあいインフォメーション（各市町からのお知らせ）

放送時間（第1・3月曜日の①以外は再放送）30分番組

月・水・金	①午前9時	②午後1時	③午後11時30分
火・木	①午前9時30分	②正午	③午後9時30分
土・日	①午前8時	②午後5時	③午後9時

わんぱくはりまっ子



おおえりょう 大江 遠くん（撮影時8ヵ月）

南野添

元気に大きくなってね(^-^)
父・母より



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。（未就学児）
広報担当まで電話をお願いします。

楽屋裏

秋の高い空を眺めていると、ゆっくりとまを散策しながら、広報写真の撮りだめをしたくなります。見慣れた景色も、カメラのファインダーを通して少し素敵に見えたりするものです。企画グループでは、「私の好きな播磨町の風景」と題して、皆さんが撮影した町の風景写真をお待ちしています。期限は10月30日（金）までですが、今後もふるさと播磨町をPR介する風景写真を、町の広報事業で活用できればと考えています。播磨町の風景写真を、広報はりまの裏表紙にあるE・メールアドレスまで、画像データを送ってください。詳しくは、広報はりま8月号4ページをご覧ください。企画グループまでお問い合わせください。（宮）

いいね! はりま

町政レポ No.34



▲郷土資料館の特別展を観賞する人たち

日本には月を表す美しい言葉が数多くあります。今年も澄み切った秋の夜空に中秋の名月がぼっかりと浮かんでいる様などは、思わず見とれてしまうほどの美しさでした。また、秋の深まりとともに運動や文化活動に絶好の季節となってきました。10月は町内でも毎週のように運動会、おまつり、展覧会などが催され、多くの方が世代を超えてふれあう機会が多くありました。寒い季節がくる前に屋外で多くのふれあいを楽しんでください。

◆10月1日に新しい教育長として藤原暁美氏が就任されました。中学校給食や播磨幼稚園の耐震工事、西幼稚園の建て替えなど当面の課題も多いですが、教育者としてのこれまでのご経験を生かしていただいて播磨町の教育環境のよりいっそうの充実に頑張ってくださいと思っています。

また、この3年間、中学校給食の実現など播磨町の義務教育のために心血を注いでご尽力いただきました松田政雄前教育長様ありがとうございました。

◆県立考古博物館では、年間多くの行事や特別展を開催しています。10月3日から「古代祭祀の世界」というテーマの特別展が行われています。呪術や儀礼などにつかわれた土偶や人形など多くの出土品を目の前に、古代の精神世界に浸ってみませんか。日常から離れたステキな秋の1日になるかもしれません。

同時に隣接する播磨町の資料館におきましても、特別展「岩、光る地 野添の歴史」を開催しています。播磨町の町域の多くを占める「野添」の歴史を改めてご覧いただければと思っています。大中遺跡周辺の木々の紅葉とともに、遺跡まつり（11月7日）の準備も着々と進んでいます。若い世代も企画段階から参加して、わくわくどきどきの計画を練っています。お楽しみに。

播磨町長 清水ひろ子